



平成26年度 第2回 会員交流会

日時：平成 26年 11月 26日（水）
12時開場－18時45分閉場

会場：郡山ビューホテルアネックス
3F 雲水峰、麓山、華
(福島県郡山市中町10-10)

会場全体図

【ご注意事項・ご案内】

- ※ ご来場時は「総合受付」にお越しください。
- ※ 貴重品管理は各自でお願いします。
- ※ クロークをご利用いただけます。
- ※ 冷水はセルフサービスでご利用いただけます。
- ※ 喫煙スペースは屋外と13階にございます。
- ※ ゴミはお持ち帰りください。
- ※ 当交流会はマスコミオープンとなります。

①映像コーナー

会員様の取組紹介の映像を上映します。

②マッチングボード

ボードと付箋を設置します。掲示板としてお使いください。

A会場（雲水峰）

メインステージ企画



ステージ

- ・挨拶
- ・復興ビジネスコンテスト表彰式(p9-10)
- ・パネルディスカッション(p3)
- ・プレゼンテーションコーナー(p4)

ワークショップ
体験コーナー
(p8)

総合受付

出入口

資料配布コーナー

復興庁/事務局
ブース

出入口

ブース出展(p5-7)

- ・農林水産、食品加工
- ・観光、ものづくり
- ・子ども、高齢者、コミュニティ
- ・エネルギー、まちづくり、防災
- ・各種支援事業

パネル展示コーナー

出入口

パネル展示コーナー

ブース出展(p7)

- ・復興ビジネスコンテスト受賞団体

C会場（華）

B会場（麓山）

「新しい東北」×「〇〇」 キャンペーン

設置しているパネルと一緒に写真撮影してSNS等でぜひアピールにご利用ください！

復興ビジネスコンテスト関連企画

- ・A会場メインステージで受賞団体の表彰式を行います。
- ・C会場で、受賞団体のブース出展、第一次審査を通過した団体のパネル展示を行います。

スタンプラリー

★印の付いているブース（p5-7）を見に行きスタンプを集めましょう！ 20個以上集めた方には景品をご用意しています。（引換は総合受付にて承ります）

ブースコンテスト

一番良かったと思うブースに投票をお願いします！ アンケート用紙に回答欄を設けています。後日HP上で結果を発表予定です。

当日の名刺ケースの色

- ・一般参加者：白
- ・ブース/プレゼン/パネル出展団体：青
- ・パネルディスカッション登壇者：緑
- ・マスコミ関係者：黄
- ・スタッフ：赤

エレベーター

クローク

休憩
スペース

お手洗い



ミニプレゼンテーションコーナー
(当日予約制、p8)

当日飛び込み参加可能なプレゼンテーションコーナーです。利用希望の方は総合受付へお越し下さい。

タイムテーブル

時間	主な企画
12:00	開場
12:30-14:40	プレゼンテーション
15:00-16:00	挨拶・復興ビジネスコンテスト表彰式
16:15-17:15	パネルディスカッション① 「官民連携による地域課題の解決 vol.2」
17:30-18:30	パネルディスカッション② 「子どもの健やかな育ちと若者の人材育成」
18:45	閉場

ブース
出展

パネルディスカッション

A会場 メインステージ 16:15-17:15

官民連携による地域課題の解決 vol.2

被災地外において、地域課題の解決に向けて官民連携の体制づくりを推進している自治体の方々にお越しいただき、先進的な動きや今後の展望についてご議論いただきます。

ファシリテーター

青柳 光昌 氏（日本財団ソーシャルイノベーション推進チーム チームリーダー）

パネリスト

【横浜市 LOCAL GOOD YOKOHAMA】

関口 昌幸 氏（横浜市政策局政策部政策課）

杉浦 裕樹 氏（NPO法人 横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事）

【文京区 文京ソーシャルイノベーション・プラットフォーム】

境野 詩峰 氏（文京区区民部協働推進担当課長）

広石 拓司 氏（株式会社 エンパブリック代表取締役）

【福島大学うつくしまふくしま未来支援センター】

天野 和彦 氏（福島大学特任准教授）

A会場 メインステージ 17:30-18:30

子どもの健やかな育ちと若者の人材育成

復興庁先導モデル事業等の中から、子どもの健やかな育ちと人材育成を目指して取り組む方々にパネリストとしてお越しいただき、官民連携の必要性、推進策、今後の課題・展望についてご議論いただきます。

ファシリテーター

中鉢 博之 氏（ふくしま連携復興センター理事）

パネリスト

菊池 信太郎 氏（郡山ペップ子育てネットワーク理事長）

米倉 正子 氏（NPO法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク事務局）

石井 賢一 氏（富岡町教育委員会教育長）

三浦 浩喜 氏（OECD東北スクール統括責任者、福島大学理事・副学長）

山内 幸治 氏（NPO法人 ETIC.理事・事業統括ディレクター）

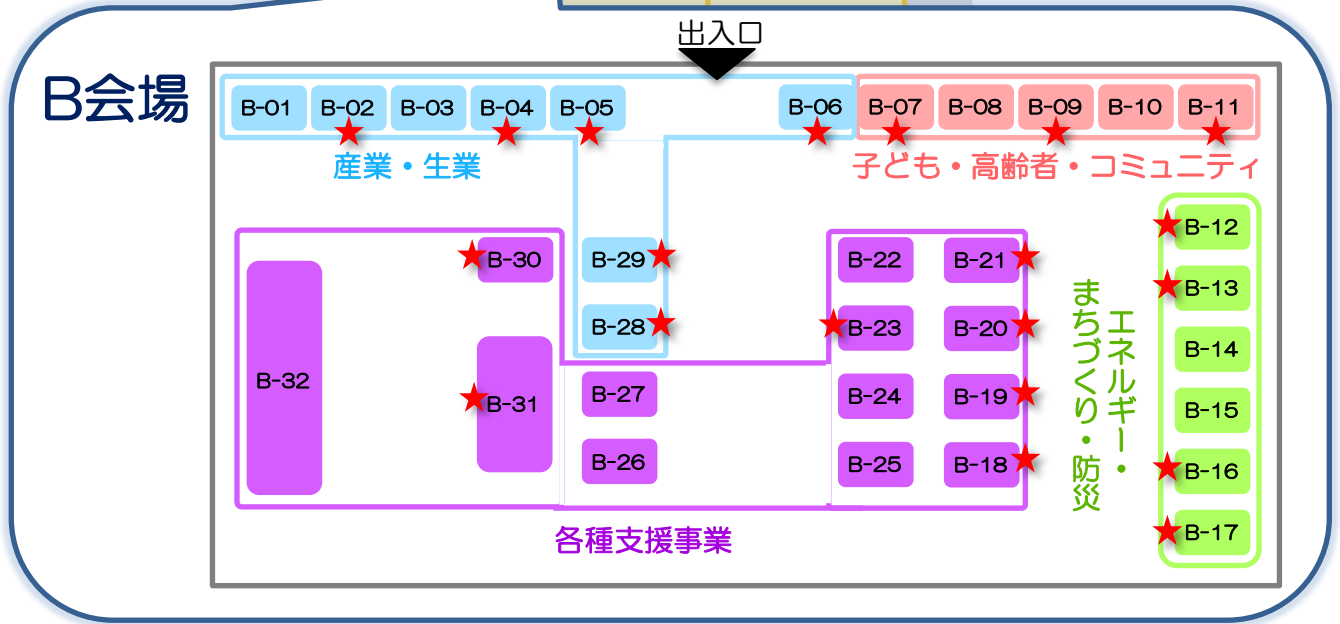
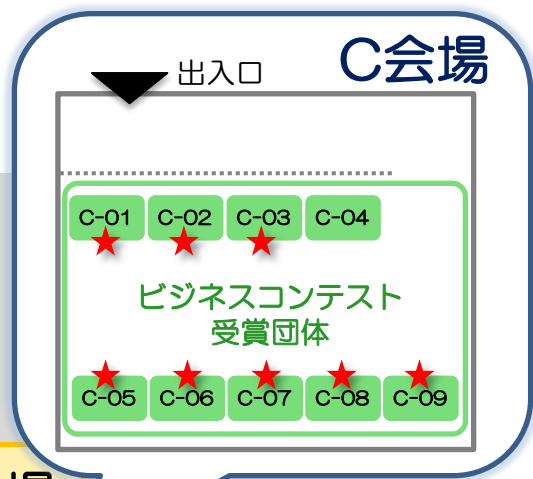
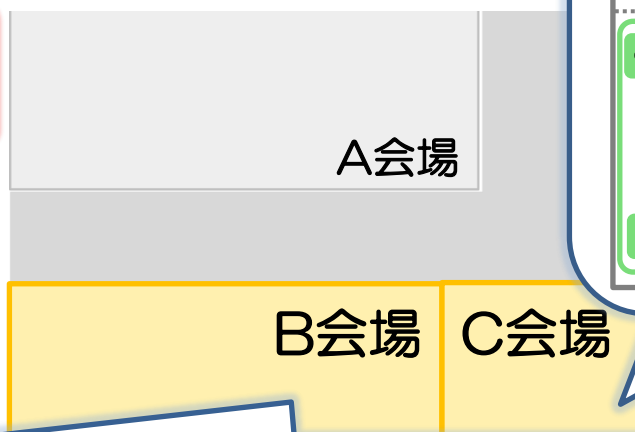
プレゼンテーション



時間	A-1	A-2
12:30-12:40	セキュリティ被災地応援ファンドの現状と課題 ミュージックセキュリティーズ株式会社 セキュリティ被災地応援ファンドは、2011年4月25日から開始しました。3年7か月を経て、現状の取り組みと、課題についてご報告させていただきます。	震災復興へのDBJの取り組み～地域企業の価値向上に向けて～ 株式会社日本政策投資銀行 震災復興ファンド等による資金ニーズへの対応、地域資源を活用した観光と食のコラボレーション創出や日本酒の消費拡大に向けた仕掛けなど支援先企業の価値向上への取り組み等、DBJの創造的復興に向けた取組をご紹介します。
12:45-12:55	福島から地域の課題を解決する事業と人材を創出する「ふくしま復興塾」の取り組み 福島大学つくしまふくしま未来支援センター 福島の若者育成プロジェクトである「ふくしま復興塾」第2期を開講中である。約半年間のプログラムで、塾生はふくしまの課題を解決する事業を立案します。今回は、塾生の中から立案された福島に“つながる”弁当についても紹介します。	東北ラーニング・コミュニティによるアクティブラーニングの取り組み 東北ラーニング・コミュニティ NPO法人ETICと株式会社ラーニング・イニシアティブが協働で取り組んでいるアクティブラーニングについて紹介します。また、あわせてワークショップ（試行）も実施します。奮ってご参加ください。
13:00-13:10	独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島 独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 独立行政法人中小企業基盤整備機構で実施している、震災復興支援アドバイザー制度のご案内です。この制度は、東日本大震災において被災された中小企業へ、経営に関するアドバイザーを派遣し支援を行うものです。	大和リース㈱の官民連携における復興事業 大和リース株式会社 福島支店 ・大和リース㈱の震災復興への取組と、今後の官民連携事業への取組について ・大和リース㈱の事業紹介 ・パンフレット等
13:15-13:25	JST復興促進センターにおける産学官連携の取り組みと成果 (独)科学技術振興機構 JST復興促進センター 復興促進プログラムを活用した被災地企業と学との共同研究への支援に関し、その取り組みと成果についてご紹介いたします。	毛糸にふればみんなしあわせ 梅村マルティメディア気仙沼FSアトリエ株式会社 気仙沼市内の主婦を中心とするメンバーで、インターネット通販により、毛糸とニットを気仙沼から全国に販売しています。この他、定期的に編み物教室を開催するなど、地域住民との交流を深めています。
13:30-13:40	東日本大震災被災3県におけるRCFの取組み紹介 一般社団法人RCF復興支援チーム RCF復興支援チームによる「コーディネート」を通じた被災地への取組みを具体的な事例を使って紹介。官民連携による生活再建、事業者・自治体に対する仮設住宅支援・コミュニティ支援・水産加工業支援・人材マッチング支援等。	スメープジャパンが目指すこと スメープジャパン株式会社 宮城県石巻市で微細藻の生産・販売を行っている。弊社が扱う微細藻ナノクロロプシスは、他の微細藻に比べ脂質含有率が高く、オメガ3不飽和脂肪酸のEPAが高含有という特徴をもつ。高機能食材としての新商品開発・市場開拓、バイオ燃料への利用を目指す。
13:45-13:55	UR都市機構の復興支援の取組み UR都市機構 URが取り組む復興市街地整備事業と災害公営住宅整備事業の現状をお伝えするとともに、災害公営住宅における高齢者・コミュニティ支援、中心市街地のビルドアップ支援、産業誘致の取組み等についてもご紹介いたします。	【事例紹介】福島県いわき市における津波避難訓練 いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガレ！日本」 津波からの避難をテーマに、河北新報社をはじめとする地方新聞社、東北大学災害科学国際研究所、電通グループが地域と連携して避難訓練プログラムの開発に取り組む。当日は、今年8月29日に福島県いわき市で実施した訓練を中心に紹介。
14:00-14:10	道路調査画像アーカイブ利用による防災・復興支援 インクリメントP株式会社 デジタル地図制作にあたり、全国の道路を走行調査、震災以前の全ての道路周辺画像を撮影しています。東北地方で失われた故郷の風景を次世代に伝えるためのデジタルアーカイブ、震災検証、防災教育、防災対策等へ活用に関する企画のご提案をいたします。	農と民宿を活かした滞在型の活性化 特定非営利活動法人 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 種類の異なる三つの市民農園を作り、「農の魅力」という地域資源を用いて、「農の魅力で都会の人々を地域に招く」「農を通して地域の過疎問題と向き合う」ことを行っていきます。農家民宿とも連携し、滞在型の交流促進と観光創造事業に取り組んでいます。
14:15-14:25	施設の安全対策と地域木材活用による産業振興 株式会社イトーキ オフィス家具メーカーとして、東日本大震災の経験を踏まえて、施設の安全対策と福島県内の木材を家具・内装材に活用することで産業振興を図る取り組みの紹介。	
14:30-14:40	民間主導型オンデマンドバスによる高齢者移動自立支援事業プロジェクト コガソフトウェア株式会社 福島県いわき市で「孝行サービス」コンソーシアムがオンデマンドバスの実証運行を実施しています。商店街やスーパー等の店舗経営者が地域活性化のために事業の中心となり、民間主導で提供される「毎度！おいで！送迎サービス」の取組みについてご紹介いたします。	

ブース出展

★印の団体はスタン
プラリー参加団体で
す。



スタンプラリー台紙

- ✓ スタンプラリー参加団体の各ブースに設置されているシールを集めて台紙に貼って下さい。
- ✓ 20個以上集めた方には出展者からご提供いただいた景品を総合受付にてお渡しします。
- ※スタンプ、景品ともに数に限りがございますのでご了承下さい。

B-02	B-04	B-05	B-06	B-07	B-09	B-11	B-12
B-13	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	B-21	B-23
B-28	B-29	B-30	B-31	C-01	C-02	C-03	C-05
C-06	C-07	C-08	C-09	合計	景品の受取		
				個			

産業・生業

B-01 郡山ブランド野菜協議会

郡山ブランド野菜協議会

郡山ブランド野菜の品目の中から冬野菜5種類の展示や試食を行います。また、旬が過ぎた夏野菜に関しては、映像の上映によるプレゼンテーションを行います。

B-04 アクセンチュア株式会社

クレジットカード決済限定！会津地域の厳選名産品の販売

モバイル端末を使ったカード決済システムの導入促進により、会津地域の経済活性化を目指しています。ブースでは、厳選した会津の名産品をご用意しています。もちろん支払いがカード決済のみ。当日はぜひクレジットカードのご用意を！

B-28 スメープジャパン株式会社

スメープジャパン株式会社（微細藻ナンノクロロプシス）

宮城県石巻市で微細藻の生産・販売を行っている。弊社が扱う微細藻ナンノクロロプシスは、他の微細藻に比べ脂質含有率が高く、オメガ3不飽和脂肪酸のEPAが高含有という特徴をもつ。高機能食材としての新商品開発・市場開拓、バイオ燃料への利用を目指す。

B-02 郡山市

こおりやまの農産物・特産品

先人たちの努力により実現した安積開拓。その恩恵を受け、郡山市には味自慢の特産品がたくさんあります。猪苗代湖の澄んだ水、肥沃な大地で育った郡山市自慢の農産物や特産品をご紹介します。

B-05 滝根町商工会

滝根町商工会

地域住民が主体となり、田村市滝根町特有のあぶくま洞等の地域資源を、持続可能な観光資源として保全・活用する観光客参加型のツアーを構築することで、地域に愛着が湧き何度も足を運んでもらえるような新たな観光のモデルを創造・発信する。

B-29 風景と心の修景および創景プロジェクトコンソーシアム

風景と心の修景および創景事業-共時空体験的ふるさと再生と創造

当事業は東北の失われた風景を多くの断片的な記録からアーカイブ化し、また芸術表現作品として再生して、新しい風景とふるさととの創造にヒントと貢献を提供することを目的として、風景の収集・修景・創景の3つの事業に取り組んでいます。

B-03 デジタルブックプリント株式会社

高度鮮度保持輸送システム

地域の特産品を高機能保冷箱と高機能保冷剤でそのままの鮮度と品質を常温車の宅配便でサイズの規制なく輸送することができるシステムです。

B-06 特定非営利活動法人 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

里山からの贈り物

震災後に地域資源を活用した加工品づくりに取り組んできました。桑の町からの贈り物として桑の葉のパウダーや無添加の里山ソース・桑焼酎、おやじたちの熱い思いがこめられたリンゴシードルを準備しましたので、ご利用をお待ちしています。

子ども・高齢者・コミュニティ

B-07 NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク

NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク

子どもの健やかな育ちに必要な運動遊びを実践する遊び場の運営と、子どもの遊びをリードするプレイリーダーの養成

B-08 東電パートナーズ株式会社

東電パートナーズ株式会社

福島県浜通り地域から避難されている方の仮設住宅でのサロンの活動状況および介護施設職員の方への介護に関する研修会などの実施状況や高齢者の方が安心して暮らせる町づくりへのご提案などを紹介します。

B-09 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

「だれもが地域で普通に」暮らし続けることのできる地域社会の実現をめざして

地域住民や被災地の支援者などを対象に、研修会やイベントの開催、調査・研究、出版などを行うNPO法人です。高齢化や過疎化など、全国共通の課題を、10年早回しに迎えたと言われる被災地から、支え合いのある住民主体の地域社会づくりを発信します。

B-10 日本公園緑地協会/冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

健やかな子どもの成長を育む地域の遊び場づくり

平成25年度から、（社）日本公園緑地協会とNPO冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワークが協同で実施している「健やかな子どもの成長を育む地域の遊び場づくり事業」について、これまでの取組をご報告させていただきます。

B-11 まちづくりNPO新町なみえ

こどもまちづくり会議（にほんまつ-なみえ）

今後の復興を担う原発被災地と受入自治体の子どもを対象に、子どもまちづくり会議（まちづくり体験等）を開催する。子ども達の居場所を作り、全国にバラバラに暮らしている子どもたちと情報ネットワークで繋がることで広域の地域コミュニティの構築を行う。

エネルギー・まちづくり・防災

B-12 株式会社イトーキ

株式会社イトーキ

オフィス、公共空間等の安全対策をお手伝い致します。また、福島県内の木材を活用した施設づくりのお手伝いを致します。

B-13 NPO法人 コミュニティ・アソシエーション美しい街住まい倶楽部

いわき市豊間地区；600戸のコミュニティと産業の再生

産業の再生を住民の参加と協働の力で推進するため、プラットフォーム構築、仮設店舗での特産品づくり、災害公営住宅での実証実験を行い、コミュニティ再生と拠点づくりの合意形成を図る。

B-14 「生きる力」市民運動化プロジェクト SENDAI CAMP 実行委員会

被災訓練プログラム SENDAI CAMP ～あなたの“生きる力”を高めよう！～

被災体験というよりも実践的な形で模擬体験する「被災体験プログラム」を開発中。9/27（土）14：00～9/28（日）8：00頃の約18時間、実際に仙台市の街なかの公園でテント泊を実施した模様を紹介いたします。

B-15 いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガレ！日本」

いのちと地域を守る 津波防災アクション「カケアガレ！日本」

津波からの避難をテーマに、河北新報社をはじめとする地方新聞社、東北大学災害科学国際研究所、電通グループが地域と連携して避難訓練プログラムの開発に取り組む。当日は、今年8月29日に福島県いわき市で実施した訓練を中心に紹介。

B-16 地域防災モデルシステムによる頑健で活力ある街づくり

地域に根ざしたICTサービス活用による頑健で活力ある街づくり

今年度から開始した本事業では、宮城県角田市・岩手県滝沢市と、災害時および平常時におけるICTサービス活用の考え方について議論してきました。本日は、これまでの議論の内容と、災害時の情報発信・共有を支える試作中のICTサービスをご紹介します。

B-17 株式会社NTT東日本-東北

きずな支援ねっと

東日本大震災の被災者や支援者の皆様の経験を元に、「きずな支援ねっと」を開発しました。アタッチャーズ一つで簡単に、素早く避難所の状況把握・情報共有が可能になり、どこでも避難所を開設・運営出来ます。

新企画・ブースコンテスト

概要

下記基準に該当するブースを投票してください。（投票用紙は来場者アンケートの中にあります）

- （1）取組内容に関心を持ったブース
- （2）取組のPRが上手いブース

上位入賞者への特典

○協議会ウェブサイトの特集記事を掲載
入賞団体の取組内容や効果的なブース出展方法のポイント等を掲載予定です。
等の特典により応援させていただきます。

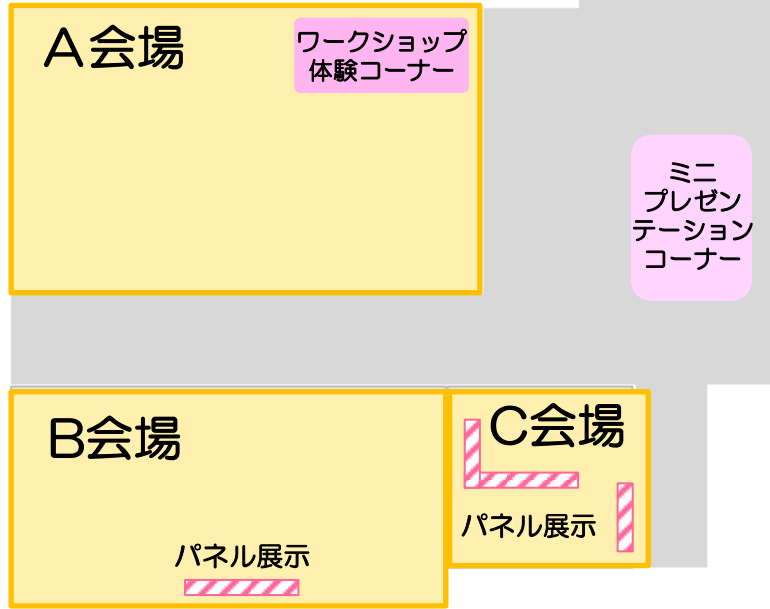
各種支援事業

B-18 一般社団法人RCF復興支援チーム 一般社団法人RCF復興支援チーム ～どんなひと地域も、価値をつくりあう社会～ RCF復興支援チームによる「コーディネート」を通じた被災3県への取組を紹介。官民連携による生活再建、事業者・自治体に対する仮設住宅支援・コミュニティ支援・水産加工業支援・人材マッチング支援等。	B-19 一般社団法人ふくしま連携復興センター/ふくしま復興応援隊 一般社団法人ふくしま連携復興センター/ふくしま復興応援隊 ふくしま連携復興センターは、復興支援で活躍する多くのNPO等で構成されるネットワーク団体です。行政や企業、大学などとの協働推進、情報発信、政策提言を行っています。福島県との協働事業である「ふくしま復興応援隊」の取組についても紹介致します。	B-20 インCREMENT P株式会社/NTT空間情報株式会社/グローバルサーベイ株式会社 震災前後の現地状況確認ソリューション デジタル地図制作にあたり全国の道路を走行調査、震災以前の全ての道路周辺画像を撮影しています。失われた風景を次世代に伝えるための活用提案をいたします。また、災害復旧に寄与する不動産登記の「地番」が分かる「地番地図」のご紹介をいたします。
B-21 日本百貨店協会 百貨店バイヤーが選ぶ「東北発！百貨店推奨ブランド」 東北の百貨店（10社）現役バイヤーが、東北製品の魅力を再発見し、さらなる魅力を引き出すために、「東北発！百貨店推奨ブランド」としてカタログ化。カタログ内容の紹介と、百貨店OBによるアドバイス事業について紹介。	B-22 国立大学法人福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 国立大学法人福島大学 東日本大震災並びに東京電力福島第一原発事故災害からの復旧・復興に向けて取り組んでいる、子ども・若者支援、まちづくりや産業再生等の地域復興支援、農・環境復興支援など、センターが実施している各種の支援活動等を紹介いたします。	B-23 大和リース株式会社 大和リース㈱の官民連携における復興支援事業 ・大和リース㈱の震災復興への取組と、今後の官民連携事業への取組について ・大和リース㈱の事業紹介 ・パンフレット等
B-24 UR都市機構 UR都市機構の復興支援の取組み UR都市機構の復興まちづくり支援について、進捗状況及び被災市町村別にまとめたパネルを展示します。	B-25 株式会社日本政策投資銀行 株式会社日本政策投資銀行（DBJ）の業務ご紹介 震災復興への取り組みや世界初のBCM格付融資を通じたファイナンス面からの企業の防災力強化支援など、DBJの業務についてご紹介いたします。	B-26 東北財務局 福島財務事務所 財務省 東北財務局 福島財務事務所 福島財務事務所は財務省の総合出先機関です。金融庁からも権限を委任を受けており、中小企業等に対する金融円滑化対策、資金調達に役立つ金融検査の知識など財務省や金融庁の各種施策を皆様にお伝えします。
B-27 一般社団法人 日本生産技能労務協会 被災地域活人、コミュニティ形成維持支援並びに産業人材育成事業 被災地域における活人・並びにコミュニティ形成維持支援を通じ、地域産業人材育成への展開	B-30 独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島 独立行政法人中小企業基盤整備機構で実施している、震災復興支援アドバイザー制度のご案内です。この制度は、東日本大震災において被災された中小企業へ、経営に関するアドバイザーを派遣し支援を行うものです。	B-31 (独)科学技術振興機構 JST復興促進センター (独)科学技術振興機構 JST復興促進センター 復興促進プログラムを活用した被災地企業と学との共同研究への支援に関し、その取り組みと成果についてご紹介いたします。
B-32 福島県 企業立地課・産業創出課、観光交流課、県産品振興戦略課、ふくしま おいしい大賞、公益財団法人福島県観光物産交流協会 福島県による産業振興の取組み（企業誘致、再生可能エネルギー、医療関連産業） 企業誘致・再生可能エネルギー・医療関連産業についてのPR 福島県産品振興戦略課 「全国新酒鑑評会」2年連続金賞受賞数日本一の県産日本酒及び「日本橋ふくしま館」における企業マルシェ実施状況等の紹介等を行います。 福島県観光PR 県では観光復興に向け、来春、J Rと共同で大型の観光キャンペーンを開催するほか、教育旅行誘致やコンベンション開催支援など様々な取組を進めています。 浜・中・会津と異なる気候風土の下、歴史、文化、食など多彩な魅力を持つ本県の観光を紹介いたします。 ふくしま おいしい大賞 ふくしまおいしい大賞は県産食材を活用した新たな商品（6次化商品）の開発・改良を図るため、消費者の評価を得ることを目的に「マルシェふくしま」を活用して販売サポート活動及び道の駅やイベント会場等を巡り、試食販売・アンケート調査を行っています。		

ビジネスコンテスト受賞団体

C-01 ヤグチ電子工業株式会社 小型・低価格放熱線量計「ポケットガイガー」 「ポケットガイガー」は弊社と国内のエンジニアや大学研究者、また海外の専門家によって支えられており、スマートフォンに接続することで低価格・高精度、且つGPS活用でマッピングができFacebook上でユーザー間の情報共有ができる商品です。	C-02 株式会社幸呼来Japan 幸呼来Japan（さっくらじゃぱん） リアルなエコライフブランド「Panoreche」アパレルメーカーから出る残反を利用し、「裂き織」の技術を用い生まれたファブリック&ライフスタイルブランド。生活の一部に溶け込みファッション感覚で楽しめるエコライフを私たちは提案いたします。	C-03 梅村マルチナ気仙沼FSアトリエ株式会社 梅村マルチナ気仙沼FSアトリエ 津波で集落ごと流された気仙沼市唐桑町大沢地区に会社を設立。この地から届けられる毛糸とニット製品を通して、全国のみなさんと「編み物の楽しさ」、「毛糸にふれるしあわせ」を共有するプロジェクトを推進しています。
C-04 企業組合八幡平地熱活用プロジェクト 八幡平ウまいこと地熱活用プロジェクト 日本で初めて地熱発電所が操業を開始した八幡平市において『馬産地いわて』の文化の復興、復活を目標に、地熱を活用する事で、馬由来の資源、馬の堆肥を高付加価値化し、その特性である臭わず軽いうという特性を活かし、都市と地方をウマくつなぐプロジェクト	C-05 南三陸復興ダコの会 置くとおパスでオクトパス君！南三陸復興ダコの会 オクトパス！パス！「コミュニケーションツールで社会を明るく元気に」が合言葉の南三陸復興ダコの会。合格祈願のオクトパス君グッズ、可愛いまゆ細工、木製ノベルティグッズ、せんべいを製作しています。ブースでは、製品の展示・販売を行っています。	C-06 桃浦かき生産者合同会社 超高压機によるかき剥きの機械化と商品開発 桃浦かき生産者合同会社概要、超高压機により剥いたかきの特性、商品についてご説明します。
C-07 自然食品ばんだい 自然食品ばんだい パリパリ モチモチ 餡の旨みがたまらない！世界中の子供達に笑顔をもたらす！喜多方もちり餃子は「めざせ食の日本代表」第二回地場もん国民大賞審査員賞を受賞。フード・アクション・ニッポンアワード2年連続入賞を受賞しました。	C-08 島津麺店 島津麺店 明治42年創業の靴製造所です。『華靴』は天然発酵甘糯飲料です。宮城県内産ササニシキ1等米を100%使用した自家製生靴、米と水のみで製造。添加物不使用、アルコール0.00%で糖度約38%の自然なやさしい甘みです。低温加熱で造るため、酵素たっぷり。	C-09 株式会社磐城高箸 純いわき産杉割箸(磐城高箸) 林業衰退に、更に衰退著しい割箸製造で歯止めをかける！

その他出展



ワークショップ体験コーナー

東北ラーニング・コミュニティ

- ✓ 時間：13:30-14:00
- ✓ 会場：A会場 後方エリア
- ✓ 定員：10名程度（どなたでもご参加いただけます）

NPO法人ETICと株式会社ラーニング・イニシアティブが協働で取り組んでいるアクティブラーニングの概要について約30分のワークショップを開催予定です。



※写真はイメージです。（ETIC. ホームページより）

ミニプレゼンテーションコーナー【当日予約制】

空いている時間帯のどこでもご自由にご発表頂けます。ご希望される方は、「総合受付」でお申し込み下さい。

番号	時間	番号	時間
①	12:30-12:40	⑩	16:15-16:25
②	12:45-12:55	⑪	16:30-16:40
③	13:00-13:10	⑫	16:45-16:55
④	13:15-13:25	⑬	17:00-17:10
⑤	13:30-13:40	⑭	17:15-17:25
⑥	13:45-13:55	⑮	17:30-17:40
⑦	14:00-14:10	⑯	17:45-17:55
⑧	14:15-14:25	⑰	18:00-18:10
⑨	14:30-14:40	⑱	18:15-18:25

パネル展示団体（五十音順）

B会場

- ・ 一般社団法人ピースポート
災害ボランティアセンター

C会場（復興ビジネスコンテスト 第一次審査通過団体）

- ・ 小野寺商店
- ・ 株式会社東部環境
- ・ 農業生産法人株式会社高森農園
- ・ スメーブジャパン株式会社
- ・ SSS合同会社
- ・ 大和リース株式会社
- ・ 株式会社乃村工藝社

復興ビジネスコンテスト表彰式

会場：A会場内メインステージ（15:00-16:00）

時間	内容
15:00-	復興副大臣・福島県知事挨拶
15:10-	表彰状授与、大賞受賞者コメント、写真撮影

コンテスト概要

被災地の産業復興に向けた地域産業の創出の機運醸成を図ることを目的に、地域産業の復興や地域振興に資する事業（又は事業計画）を募集

募集分野

- 水産業（加工業を含む）
- 農林畜産業（加工業を含む）
- 製造業（食品加工業を除く）
- 商業・観光・サービス業等
- その他（エネルギー、ソーシャルビジネス等）

審査プロセス

第一次審査 （書類審査）

応募総数：133件

第二次審査 （プレゼンテーション審査）

参加者数：48件

表彰式

大賞：1件
優秀賞：6件
奨励賞：3件

※アイリスオーヤマ株式会社より、受賞団体の中からアイリスオーヤマ賞が贈られます。

審査体制

- 池田 安弘（いけだ経営デザイン研究所 代表）
黒澤 賢治（特定非営利活動法人 アグリネット 理事長）
篠崎 宏（株式会社JTB総合研究所 コンサルティング第1部長）
土肥 健夫（株式会社事業開発推進機構 代表取締役）
中込 進（株式会社アットソリューションズ 会長）
永沢 映（特定非営利活動法人 コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事）
野村 秀之（株式会社博報堂DYホールディングス イノベーション創発センター
イノベーション推進グループ グループマネージャー）
平野 哲行（株式会社平野デザイン設計 代表取締役社長）
本田 勝之助（本田屋本店有限会社 四代目 代表取締役）
松尾 省二（株式会社エンジョイ・フィッシャーマン 代表取締役）
政所 利子（株式会社玄 代表取締役）
山田 さとみ（一般社団法人あおもりコミュニティビジネスサポートセンター 理事）

※ このほか、独立行政法人科学技術振興機構JST復興促進センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構、金融機関等が審査に参加しました。

受賞団体紹介

大賞

株式会社磐城高箸（福島県いわき市）

『林業と地域を再生させる、
間伐材を使用した高級割り箸』

【事業概要】

いわき産杉間伐材を活用し、デザイン性のある高級割り箸や派生商品を一貫製造・販売する事業を展開



優秀賞

みらいの食研究所
（岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市）

『まるでに ブランド
開発プロジェクト』

地域の第一次産品を活用したスープ等の新商品の開発と新市場開拓に取り組み、地域の食産業の付加価値創出を目指す

優秀賞

桃浦かき生産者合同会社
（宮城県石巻市）

『超高压機によるカキ剥きの
機械化と商品開発』

超高压機によりカキ剥きを機械化し、カキを使った高付加価値・高価格の新商品を開発

アイリス
オーヤマ
賞

優秀賞

島津麴店
（宮城県石巻市）

『価値ある健康サポート、
天然発酵甘糍飲料「華糍」』

江戸時代から続く石巻地域の麴文化を継承し、高温で殺菌する甘酒とは全く異なる、天然発酵甘糍飲料を商品化

優秀賞

ヤグチ電子工業
Radiation-Watch.org（宮城県石巻市）

『安価・高精度・軽量な放射線
測定器「ポケットガイガー」』

震災を期にスマートフォン接続型線量計の開発に着手。大手メーカーの製品の量販で培った技術を活用し短期間で商品化

優秀賞

梅村マルティナ気仙沼FSアトリエ
株式会社（宮城県気仙沼市）

『気仙沼発！毛糸&ニットによる、全国のみなさんとのしあわせ共有プロジェクト』

インターネット通販により、毛糸とニットを気仙沼から全国に販売。編み物教室を開催し、住民との交流も深めている

優秀賞

企業組合八幡平地熱活用
プロジェクト（岩手県八幡平市）

『馬産地いわての復活と馬由来資源で
都市と地域をうまく繋ぐプロジェクト』

地熱を活用した馬ふん堆肥の安定発酵、高品質化と安定供給を実施。馬ふん堆肥を活用して、マッシュルームを栽培

奨励賞

株式会社幸呼来
Japan（岩手県盛岡市）

『伝統工芸「裂き織」で
環境にも障がい者にも優しい
「リユース」商品開発』

奨励賞

南三陸復興ダコの会
（宮城県南三陸町）

『オクトパス君
プロジェクト』

奨励賞

自然食品ばんだい
（福島県喜多方市）

『子供達に笑顔・
観光客に思い出を作る
喜多方もちり餃子』

事務局からのお知らせ

■ 協議会の上手な使い方

会いたい人に会うために
マッチングボードを
使ってみてください！

Step 1 : 交流会で声をかける

まずは名刺交換から。関心事項や問題意識を共有している人と出会ったら、積極的に意見交換も！

交流会の場では、スタンプラリー等の機会を利用して積極的にブース訪問し、ゆっくり話したくなったら、ロビーの休憩スペースをご活用下さい！

Step 2 : 直接相談をしてみる

先方の連絡先がわからなくても、協議会ウェブサイトの会員専用サービスに御登録いただいている場合は、「メール機能」を活用し、連絡をお取りいただくことができます！

交流会後の連絡、連携相手の募集には会員専用サービス、協議会ウェブサイトをご活用下さい！

Step 3 : 取組を発展させる

「プロジェクトのイメージが具体化してきた」「より多くの団体と一緒にイベントを開催したい！」…そんなときには会員専用サービスが便利です。会員専用サービスを利用し、プロジェクトやイベントの相談・情報発信を行うことで、他の団体に興味を持っていただくことができます。

《連携実績例》

➤ 取引先の開拓につながりました！

会員交流会（3/16@仙台）でブースを出展し、多数の参加者と交流。後日、催事販売の打診があり、大手小売店舗にてフェアを開催。また、会員交流会（9/29@盛岡）でもブースを出展し、多数の参加者と交流。他企業のWebサイトにおける商品の販売支援が決定。また、ある企業では、グループ企業での販売を検討。

➤ 事業者と支援制度とのマッチングにつながりました！

会員交流会（9/29@盛岡）でブースを出展。宮古の水産関係団体による新たな事業展開についてアドバイスをを行うため、後日、復興支援アドバイザーを派遣。また、金融機関と、中小企業支援に向けた連携について検討開始。

【お問い合わせ】

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局
みずほ総合研究所株式会社 社会・公共アドバイザー部
E-Mail : nt-info@mizuho-ri.co.jp
TEL : 03-3591-8773（平日9時30分～17時30分）
URL : <http://www.newtohoku.org/>